

人が支える社会 —絆ゆたかな社会 安心社会は可能か

2011年 緊急フォーラム

●●● 私達は何をすればいいのか ●●●

不安・不信社会—無縁社会は極まるのか

■日時■ 2011年2月10日(木) 17:30~20:30

資料代 500円

■会場■ 全電通ホール 〒171-0062
東京都千代田区神田駿河台3丁目6番地

金融経済が実物経済を振り回し、いつ私たちの生活と地域を直撃するとももしれない不安社会。同時に、世界に類を見ないスピードで進行する超高齢社会—私たちの社会の質が急激に変わりつつある。

都市化、少子高齢化、家族の変容と単身化、失業と不安定就労の増大。地域、家族、仕事のつながりを喪失し、無縁化する社会への底知れない不安の広がり—

私たちは今、経済成長の中で見失ったもの、生活のすみずみに市場の論理と「個人化」が浸透する中で破壊されてきたものを見つめ、もう一度自分たちの生活、生き方、人間のあり方、社会のあり方を捉え直し、自らの手で作り直すことが求められている。

迫り来る超高齢社会—誰もが絶対弱者になる社会の到来—団塊世代が後期高齢者となる2025年、日本社会はどう変わろうとしているのか。この社会の現実と未来社会に向き合う中から、人々が本当に支え合える社会、絆豊かな社会、みんなが人生の充実=幸せを実感できる社会(新しい福祉社会)はどうしたら実現可能か。そのために私たちは今、何をすべきなのか描き出し、地域から確かな歩みを進めたい。



辻 哲夫 氏 東京大学高齢社会総合研究機構 教授

超高齢社会の構造と社会のあるべき姿を考える



ケアタウン小平クリニック 院長 山崎 章郎 氏

『病院で死ぬということ』から17年—真のコミュニティケアを問う



村上 智彦 氏 医療法人財団 夕張希望の杜 理事長

なぜ、私たちは破綻した夕張へ向かったか—そして今、確信として思うこと

※パネリストのプロフィールは裏面をご参照ください

コーディネーター

(日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会理事長) 永戸 祐三



主催：日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会／ワーカーズコープ・センター事業団／
協同総合研究所／日本高齢者生活協同組合連合会

問い合わせ：東京都豊島区池袋 3-1-2 光文社ビル6F TEL/FAX：03-6907-8030 / 03-6907-8031
E-mail：sh-soumu@roukyou.gr.jp

パネリスト・プロフィール

● 辻 哲夫 氏

東京大学高齢社会総合研究機構 教授

1971年東京大学法学部卒業後、厚生省（当時）に入省。保険局長、厚生労働事務次官を経て、現在、東京大学高齢社会総合研究機構教授。厚生労働省在任中に医療制度改革および介護保険制度に携わった。著書として、「日本の医療制度改革がめざすもの」（時事通信社）等がある。

● 山崎 章郎 氏

ケアタウン小平クリニック院長

1947年福島県生まれ。千葉大学医学部卒業。1990年著作「病院で死ぬということ」（主婦の友）がベストセラーとなる。1993年に映画化。

聖ヨハネ会桜町病院を経て、現在ケアタウン小平クリニックを開設。終末期の在宅医療に取り組む。

● 村上 智彦 氏

夕張希望の杜 理事長

1961年北海道生まれ。

北海道瀬棚町の診療所勤務時に、肺炎球菌ワクチンの公費助成を日本で初めて実現するなど予防医療に取り組み、老人医療費を大幅に削減。

全国一の高齢化率、財政破綻のまちでもある夕張に飛び込み、予防と在宅医療を重視し、新たな地域医療の再生とまちづくりに取り組む。

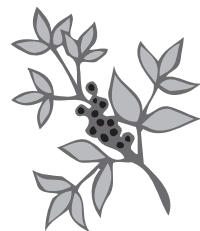
全電通ホール 案内図



全電通ホール 東京都千代田区神田駿河台3丁目6

(最寄駅)

- J R 中央・総武線・御茶の水駅・聖橋口出口徒歩4分
- 東京メトロ 千代田線・新御茶ノ水駅・B3出口徒歩2分
- 東京メトロ 丸の内線・淡路町駅・A5出口徒歩3分
- 都営地下鉄新宿線・小川町駅 B3出口 徒歩3分



参加申込書 FAX : 03-6907-8031 事務局宛にお送りください

| | | | |
|------|-------|-------------------------------|-----|
| フリガナ | | | |
| お名前 | 男 ・ 女 | ご所属 企業名 団体名 学校名 他 | |
| ご住所 | 〒 | TEL : | — — |

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会

私たちは、「協同労働の協同組合」法の今国会での成立を目指しています。協同労働の協同組合(ワーカーズコープ)は、働く者、市民が失業や地域課題の解決のために、力を合わせて(協同で出資、経営し)仕事をおこし、就労機会を創出し、地域の絆の再生に貢献することを目指しています。

FAX : 03-6907-8031 TEL : 03-6907-8030 E-mail : sh-soumu@roukyou.gr.jp